

通老の人地見附けるに固執漸く完全
 しし旅籠・しご工・^{お茶屋}旅館・しりー聚七光方
 の三度、今七光に何れも他へ歸るに
 替へて局永現平身自身に代りて
 在りぬと人にて経営隊一掃せられ
 局人常にて体々の同族に在りぬと人
 各々行の付初目を共し其旅の足手
 目下さらガ市には軒入の事一ニ進出に
 人位入込の事食店は一軒も在りぬと
 店は大騒ぎに振るはる事

就ては其自認し^{田次}の書に「^{麻主}あはる」
 マコニワケも^{WPA}のオウイス^{麻主}申込るに在
 方のとらしくあす十左下れは^{WPA}
 廣告して首書集し^{WPA}の事
 事の却つて迅速に破産の行は
 ぬと振上^{WPA}に在る

成渡黄所より歸るに在る也老記者を

